

鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部 ひとこと研究紹介 2026

鎌倉女子大学の先生方が行っている研究を、ひとことでご紹介します。



研究分野一覧

①	思想、芸術およびその関連分野
②	文学、言語学およびその関連分野
③	歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野
④	法学およびその関連分野
⑤	経済学、経営学およびその関連分野
⑥	社会学およびその関連分野（家政学および生活科学関連含む）
⑦	教育学およびその関連分野
⑧	心理学およびその関連分野
⑨	建築学およびその関連分野
⑩	農芸化学およびその関連分野
⑪	森林園科学、水圏応用科学およびその関連分野
⑫	分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野
⑬	個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野
⑭	薬学およびその関連分野
⑮	生体の構造と機能およびその関連分野
⑯	内科学一般およびその関連分野
⑰	社会医学、看護学およびその関連分野
⑱	スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野
⑲	情報科学、情報工学およびその関連分野
⑳	その他

氏名	分野	研究紹介
相澤昭宏	⑦	まちの人や地域とつながり、子供が本気になって取り組む学びとは？生活科や総合的な学習の時間を中心に、単元のつくり方や授業の在り方を考える。
青山真以子	⑦	「音楽を通してつながろう」をテーマに、子どもの音楽的な行動に焦点をあてつつ、多様な音や楽器、音楽との出会いを目指した演奏活動を展開している。
赤木拓人	⑥	こどもの権利を守るための法・制度に基づいて、児童相談所や裁判所はどのような役割を担い、判断や決定をしているのかについて研究しています。
秋田正治	⑭	お腹の中にいる赤ちゃんの健康を守るため、お母さんの食べ物、飲み物そして薬などの安全性について考える
浅井拓久也	⑦	専門は保育学です。研究テーマは保育者のキャリア形成です。社会活動として保育者や保護者対象の様々な研修会・講演会の講師を担当しています。
浅田祐一	⑱	スポーツ栄養やライフステージ別の栄養についての研究。またそれらの対象者に対する効果的な栄養教育方法の探求。
飯田篤司	①	愛、正義、価値、感情、神…こうした哲学や宗教、倫理などに纏わる「目には見えないもの」を現代において語ることには、どのような意味があるのか？
石井健士	⑫	ヒトの老化や神経変性疾患を引き起こす酸化ストレスに対して人体を守るために働いている生体防御機構を解明するため分子レベルでの研究を行なっている
石川満佐育	⑧	子どもたちの成長と発達を支えるため、子どもたちを支援する教職員、保護者、地域を支えるために何ができるか、学校心理学の観点から検討しています。
市川道伸	③	鎌倉の歴史・文化の研究。歴史上の史跡が多い武家の古都であるとともに、新たな産業や文化、情報を発信する現代的な都市でもある「鎌倉の魅力」を探究。
伊藤嘉奈子	⑧	学級集団に行う心理教育プログラムの研究。大学生が高校生に、高校と大学の違い等について話したり質問に答えたりする「ピア・メンタリング活動」を研究。
伊藤大二	⑱	血液中や唾液中に含まれるマイクロRNAという物質を解析して、生活習慣病の発症・増悪予防やスポーツパフォーマンス向上を目指した研究を行っています。
稲川英嗣	⑦	学校教育を支える教育制度や教育行政の仕組みについて研究しています。現代の教育が何を課題として、どんなことに取り組もうとしているのか分析しています。
井上天宏	⑫	不全心筋は正常心筋とどう異なるのか、動脈瘤はどのような分子機序で発生するのか、そんな研究をしています。
岩田建	⑳	微生物学、基礎栄養学、食品学実験・実習、フードスペシャリスト論、フードビジネス論などの授業を担当。食品を中心としたマーケティングを研究中。
上田陽子	⑦	保育実践のフィールドワークを通し、子どもの主体的・創造的な学びを育む保育や保育者の幼児理解の過程について、保育者との協働性に基づき研究を進める。
榎本至	⑱	水球競技を対象としたゲーム分析システムの開発と運用や、水球競技選手の水中パフォーマンスを定量評価するための牽引パワー測定に取り組んでいます。
大石美佳	⑥	女性の生涯発達が研究テーマです。個としての発達と他者との関係性の発達の視点から、ひとりを受容し、つながりを形成する生き方について考えています。
大河原典子	①	平面絵画の制作を基盤として、幼稚園小学校での造形活動の指導法や図工科目におけるICT活用の新しい可能性、色彩心理を研究しています。

氏名	分野	研究紹介
大竹奈穂子	⑦	和文化を現代に生かし、日本人の礼の心、慎みの心、相手を大切にすることを伝えること。女性がキャリアを構築し働き続けるためのマインドや職務スキルを支援する。
大塚俊明	⑦	小学校社会科授業における「生きて働く」知識の形成について検討しています。子どもたちの発言を組織化する教師の指導性がポイントになる。
岡田聡	①	ドイツの哲学者、カール・ヤスパーズを中心に、20世紀のプロテスタント思想史において、哲学とキリスト教や神学のかかわりについて考えています。
小国美也子	⑯	小児の発達障害（特にASD及びADHD）の心理社会的対応や薬物療法を含めた治療的介入の効果、リエソンの在り方、病理などに関する研究をしている。
落合由美	⑳	がん患者の栄養管理における「おいしく食べるための身体機能」の障がいへの対応に関するがん診療連携拠点病院調査を実施し、栄養管理実態の問題点を抽出。
小野村樹美	⑦	「不登校」「いじめ」「摂食障害」等をキーワードに養護教諭による効果的・実践的な指導方法についての研究を行っています。
影山晴秋	⑮	食べることは健康につながるとされている。食行動に影響する摂食調節ペプチドが臓器の動きに及ぼす作用を研究中。臓器の機能を改善それとも悪化させるのか？
加藤和之	⑦	児童生徒が主体的に学び、世の中の変化に対応しながら生きていくための資質・能力を身に付けることのできる社会科教育、児童生徒指導、教育相談の在り方。
金子智昭	⑦	保育科学生から現職者を対象に、保育者の専門性を育むための授業、実習、研修等について、主に教育心理学の動機づけ理論に基づき実証的に検討しています。
河合孝昭	①	「人間には自由があるのか」、「感情と理性はどのような関係にあるのか」、等々の哲学的問題をスピノザなどの思想を手がかりにして研究しています。
河内公恵	⑳	研究テーマは「食品の香りと嗜好の関係の解明」です。大量調理施設で提供する食事の嗜好性向上を目的に、調理中の香気成分変化の研究を行っています。
北村明裕	⑦	生徒の興味を引き出し、主体的に考え、活動する社会科の授業づくりの研究。現代社会の諸問題や統計資料等を活用した社会科の教材開発。
木下博勝	⑯	アンチエイジング、特に消化管が加齢に及ぼす影響について。腸内細菌がエイジングに及ぼす関係性を明らかにする。
桐生直幸	⑦	海外の教育事情を含めて、小・中・高の英語教育研究に幅広く関わってきました。課題解決型活動、言語活動、ICTを活用した指導、教科書分析、教員養成など。
久保内加菜	⑦	生涯学習の観点から博物館をはじめとする社会教育施設や青少年の芸術文化活動を調べています。魅力的な施設や実践が地域の中にひそんでいます。
小泉裕子	⑦	研修では保育間の同僚性、幼保小連携、ウィジブルな保育記録がテーマ。子育て支援ママリリカレッジ、潜在保育者プログラム、放課後かまくらっ子の推進。
幸喜健	⑱	階上テラス型園庭と従来の土の園庭という環境の違いによって子どもの育ちにどのような差異が生じるのか明らかにしようとしています。
小島淳子	⑦	学校教育活動等におけるICTの効果的な活用方法、および児童・生徒の学びを心理的な側面から支えていくための理論と方法などを実践的に検討しています。
小藤俊樹	⑦	教育活動の質の向上を図るためにはどのような学校経営が良いのか、また、どのようなカリキュラム・マネジメントが良いのか、について検討しています。

氏名	分野	研究紹介
後藤俊哉	⑦	「音が苦」ではなく「音楽」として楽しみながら感性を育み、「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力」の育成に向けた、音楽科授業改善の研究。
小林博子	⑧	臨床発達心理学の視点から、発達支援、子育て支援の研究をしています。保育現場における「気になる子」、発達の介入についてなどが現在のテーマです。
齋藤さゆり	⑱	給食施設で提供する食事の品質について、調理特性や衛生面、作業効率を考慮し検討中。学校給食や食育に関する調査、レシピ開発についても取り組んでいます。
神原久子	⑦	①0～2歳児の育児期家庭への支援について②産学連携企画「えのでん・えほんプロジェクト」について③デジタルツールを活用した幼児期の保育内容について。
薩摩林淑子	⑦	中田喜直の歌曲作品の音楽的特質や魅力を主にピアノパートの観点から研究。また、多世代で楽しめるピアノ（音楽）コンサートの企画と演奏を行っています。
佐藤俊司	⑦	小学校社会科において主体的・対話的で深い学びとは、どのような授業なのかを追究し、社会科を好きになる子どもを育てるための教師の役割を考える
佐藤雅己	⑦	障害を正しく理解し、すべての子どもに適切な指導・支援を行える教員の養成について研究。誰一人取り残さない学校・社会に向けて、私たちにできることは？
佐藤祐子	⑳	人々の食行動や食文化に関する調査・研究を行っています。食育介入による食意識、食行動の変化について、特に野菜摂取量の変化を中心に検討しています。
佐藤陽子	⑳	理科教育（化学）・生活科教育・キッチンサイエンスの研究者。教員研修、講演ならびに小学生・中学生・高校生向けの科学イベントへの出演経験も豊富です。
澤浦亮平	③	青森、沖縄、ベトナムの石灰岩洞窟を発掘調査し、ヒトや動物の骨の研究を行うことで、旧石器時代の人々の姿や暮らしを明らかにしようと努めています。
重松絵理奈	⑯	寝不足もダメ、寝過ぎもダメ、現役臨床内科医として、糖尿病・内分泌・動脈硬化の診療経験から睡眠と食、生活習慣病に関する研究を行っています。
柴村抄織	②	平安時代の文学を研究しています。『源氏物語』、『和泉式部日記』の言語表現の美を追究し、清少納言、紫式部、和泉式部が活躍した平安文化を考察しています。
庄司亮子	⑧	子どもの「からだ・あたま・こころ」の全面発達を支えるムーブメント教育・療法を用いた実践的な研究をしています。子どもの得意な力の育て方とは？
白子純子	⑱	包括的性教育やライフデザイン教育、プレコンセプションケアの実践、児童養護施設研修等を行い、子どもや若者の社会性の育ちと自立支援を研究しています。
杉浦学	⑰	プログラミングなどの情報技術を「誰でも楽しく」学べる仕組みづくりを研究しています。研究成果を活かしたワークショップの企画・運営もご相談ください。
杉山勇人	⑦	手書き文字の学習効果や指導方法、伝統的な文字文化について研究。時代を経ても変わらない書くことの文化・風習の大切さについて考え続けています。
鈴木樹	⑦	小・中・高等学校の特別活動（学級活動、ホームルーム活動、児童会活動、生徒会活動、学校行事）が専門。ヒヤリ・ハットなどの安全教育も教えています。
鈴木利美	⑨	長年に亘る住居設計の実務経験を活かし、住居学、住生活、インテリアデザイン、或いは住居構法など、住居に関する事項を幅広く専門としています。
関川満美	⑦	保育職に従事した経験を生かし、幼児教育・保育の現場における多様な環境や、保育職を目指す学生たちの遊びの捉え等について研究を行っています。



氏名	分野	研究紹介
銭谷真人	②	「光景（ありさま）」「小児（こども）」など、江戸時代から明治時代にかけて、人々の間で一般的に用いられていた可能性のある「あて字」についての検証。
曽我市太郎	①	教育における美術の可能性について、歴史文化や情操を切り口に、実践を通して、人間にこそ宿る力とその心身から生み出せるものは何かを探究しています。
高須正幸	⑥	福祉施設や教育現場、家庭に見られる児童虐待・いじめの問題などから、子どもが生き生きと生活できる環境や仕組みについて研究しています。
高橋紀和子	⑬	援助者が自分らしさを失わずに「その人らしく生きる」ことに関わるのか。教育・福祉・医療分野で、人相手の仕事をする集団の問題解決について検討。
高橋佐智子	⑥	被服人間工学の視点から、3D計測や動作解析に基づいた衣服設計を研究しています。誰もが自由に装いを楽しめる衣服環境の構築が目標です。
高橋宗良	⑬	スポーツ活動中の事故防止が研究テーマです。特に水泳や水辺活動中の事故防止について研究を進めており、水に関わる不慮の事故ゼロを目指しています！
田口良子	⑬	市民・患者の視点から保健医療サービスのあり方を検討しています。病気の予防や医療に関する心理や行動の分析を行っています。
武井安彦	⑤	金融機関の財務データ等を用いた統計的実証研究を行なっています。FP技能検定に関連した授業も担当し、金融教育の実践・研究を行なっています。
武山朋子	⑦	能動的学習者としての子ども観に立ち、幼児期の育ちと学びを生かして、探究し続ける子どものも学びを支える生活科、総合的な学習の在り方を探っています。
田中みか	⑦	共生社会の実現に向け、すべての人（子どもも大人も）の多様性が尊重され、誰もが大切にされ、成長できる「インクルーシブな学校づくり」について考えています。
田村にしき	①	小学校音楽科教育の研究。特に、日本の伝統音楽及び郷土の伝統音楽を学校教育に効果的に取り入れる方法を考え、教材化し、教育効果の検証を行っています。
千々松愛子	④	人生で2番目に高い買い物と言われる生命保険から、車、マイホーム、美術品、人工衛星まで、実は幅広く奥深い「保険契約」について研究しています。
築館香澄	⑥	茶の機能性や茶と食べ物のペアリング、茶殻や茶の実油といった未利用資源の有効活用について研究しています。
辻田匡葵	⑧	人が外界をどうやって知覚しているかを心理学実験で検討しています。特に、自閉スペクトラム症者の非定型な感覚知覚のメカニズムについて研究しています。
土谷知弓	⑬	家庭・学校・地域での食経験の違いが、献立作成に表れる要因と食育的支援の方向性について検討しています。
ChapmanDavidM.	②	ゲームやその他のゲームベースの活動を利用することで、英語教育をより効果的で楽しいものにする方法を研究しています。
遠山孝司	⑧	教員を目指す大学生や教員が教員としての力量や視点を獲得し、成長していくプロセスについて、実践についての振り返りの内容から、検討しています。
富田庸子	⑧	親子や家族の「つながり合う努力」、子どもの健やかな育ちを支える親の関わりなどについて、臨床発達心理学の視点から探究しています。
中尾教子	⑦	ICTやメディアを活用した子供の自律的な学びと、それを支える教師の教え方・学び方について、教育工学の視点から研究しています。

氏名	分野	研究紹介
中島朋紀	⑦	「子どもであること」を理解する子どもの人間学研究の立場から、子どもの存在を人間学的－現象学的に省察することを通して、教育の在り方を問う。
成川美和	⑳	人と人が何らかのアクションを起こした際にみられる現象について実践的視点、教育的視点、感情的視点等から実態、効果、変化等を分析しています。
西島大祐	⑬	野外でのチャレンジ体験を基礎とした冒険教育及び子どもの心身の成長・発達を促す自然体験活動に関する基礎的・実践的研究をしています。
野田明	②	英語が話せるようになるためにはどうしたよいか？「人がどのように言葉を感じていくのか」という研究を通して、言語習得のメカニズムを研究しています。
袴田優子	⑧	特別な支援ニーズのある子どもに焦点をあて、インクルーシブ保育の充実に関する研究やムーブメント教育・療法による家族支援の実践に取り組んでいます。
橋本吉貴	⑦	小学校学習指導要領で強調されている、作業的な数学的活動について研究。紋切り型の作品制作などを通して、教員を目指す学生たちに体験をさせています。
長谷川輝美	⑬	若い女性のやせ過ぎは社会的課題となっています。そこで、やせ過ぎを未然に防ぐ方策を見出すために若年女性の食や生活に関する調査・研究を行っています。
秦希久子	⑬	障がいのある方々が地域でいきいきと暮らすための健康づくり支援はどのように進めていくとよいのか？を栄養・食生活面から研究しています。
初澤宣子	⑧	文学作品の心理教育的活用や社会的処方、1人1台端末を活用した全校型支援等、読書や学校教育にかかわる心理学の研究をしています。
バップ晶子	①	ハンガリー出身の作曲家バリエトークのピアノ作品の研究と演奏をしています。民俗音楽の要素を取り入れた作曲技法による生命力溢れる楽しい作品です。
花岡隆行	⑦	幼児教育・保育のカリキュラムに関する研究を行っています。特に、私自身が幼児期に受けたモンテッソーリ教育の教具に注目して研究しています。
早石周平	⑦	身近な自然、GIS教材や3D教材で、地域や環境の変化を分かりやすく伝えられる、未来を考えるための教育メディアを探る研究を行っています。
針谷夏代	⑥	アスリートの理想的なカラダ作りやパフォーマンスを最高にする栄養・食事サポートについて検討しています。
平井佳江	⑦	子どもたちに言葉の力を育みたい！小学校国語科の授業改善に取り組んでいます。豊かな言語活動を通して、分かる・楽しい授業と一緒に作りましょう！
福井一光	⑳	私の関心を解き明かす手助けをしてくれそうなカント、ヘーゲル、シェリング、ニーチェ、ヤスパーズ、原始仏教、龍樹、世親、空海他を読み込んできました。
福井文威	⑳	高等教育政策と科学技術イノベーション政策をテーマに、国の教育や科学技術を支える新しい仕組みを、国際比較や政策科学の観点から研究しています。
藤澤文	⑧	「おもしろい」が「学び」になることを目指しています。具体的にはバーチャルリアリティ技術を用いて、学習環境開発のための基礎実験を行っています。
藤原昌太	⑦	良い保健の授業とはどういう授業なのか。小・中・高の先生方、研究者、各分野の専門家と協働しながら授業を計画、実施、評価、検証しています。
古川俊	⑦	AIやICTを学校現場でどう活かす？その力を握る教員研修の設計と、導入後の現場における変化や成果を検証する研究に取り組んでいます。

氏名	分野	研究紹介
寛川雅子	⑦	子どもの人権を保障するにはどのようなかわかりが望ましいのか、保育、養育、教育の施設を中心に研究しています。
保坂和彦	⑬	野生のチンパンジーを観察して、生物人類学の視点から人間性の起源を探る研究に従事しています。特に、ヒトの肉食行動や老年期の進化に関心があります。
細野美幸	⑧	子どもの認知発達に関する研究を中心に進めております。主な研究テーマは、類推能力の発達、子どもの個人差、乳児期の母子の相互作用（保護者支援）など。
本田容子	⑦	国語科の授業づくりと海外における書道ワークショップを通して、文字文化の価値を伝える研究に取り組んでいます。
松尾瑞穂	⑥	全ての子どもが健やかに暮らせる環境について、睡眠や遊び、栄養等の生活習慣、保護者の生活習慣から分析しています。
松田広則	⑬	学校等で実施されている体力テストから体力・運動能力の現状とそれらの維持向上方法の検討、また運動の脳・中枢神経系への影響に興味があります。
宮田周平	⑧	心理療法の効果について研究。うつ病に効果的な心理療法のアプローチの検討、心理療法の効果について基礎的な心理学の研究から説明することを検討。
武藤信吾	⑩	食品の疾病の予防・改善に役立つ機能性成分や、廃棄されてしまう未利用資源などについて、機能性の評価法、高付加価値化や加工方法の研究をしています。
望月紗綾香	⑧	分野を超えた研究が実現するものは何か。法学と心理学の連携の可能性について探求しています。
山口真由	⑳	昆布などに多く含まれる栄養素、ヨウ素の摂取量調査について。海藻を頻繁に食べる日本人はヨウ素摂取の過剰はあれども不足はない、という定説はいかに。
山城久弥	⑥	保育現場における子育て支援について研究しています。保育の視点から子育て家庭の現状を理解し、ソーシャルワーク技術を用いた支援方法を検討しています。
山田康輔	⑬	傷病者の栄養障害について研究しています。患者様にご協力をいただきながら、筋肉量の評価方法や栄養状態を改善させるための方法などを調べています。
山田貴富	⑫	遺伝情報の実体である染色体DNAは、安定で変化しない性質と動的に変化する性質とをあわせ持つ。「生命の設計図」の二面性の分子基盤を調べている。
山成美穂	①	図画工作と音楽による、合科的で幼小の架け橋となりうる表現教材としての「歌のしかけ絵本」の意義と、教育現場における活用の可能性について。
山本詩織	⑩	食品衛生について、特に食品中の微生物による食中毒発生のリスクとその予防のための研究をしています。
吉岡範武	②	文学・宗教・リベラルアーツの知見を通して、AI時代における人間と共同体のあり方を探っています。
吉村拓馬	⑧	着任前は現場の心理士として、子どもの心理検査や相談、関係者支援に携わってきました。引き続き、子どもの発達を支える研究・活動に取り組んでいきます。
渡辺宏章	①	音楽の創作・研究を行っています。特に近年は、子どもの心とふれあう音楽の創作と研究に力を注いでいます。生涯学習講座では、音楽史・音楽理論を担当。

研究分野一覧	
①	思想、芸術およびその関連分野
②	文学、言語学およびその関連分野
③	歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野
④	法学およびその関連分野
⑤	経済学、経営学およびその関連分野
⑥	社会学およびその関連分野（家政学および生活科学関連含む）
⑦	教育学およびその関連分野
⑧	心理学およびその関連分野
⑨	建築学およびその関連分野
⑩	農芸化学およびその関連分野
⑪	森林園科学、水圏応用科学およびその関連分野
⑫	分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野
⑬	個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野
⑭	薬学およびその関連分野
⑮	生体の構造と機能およびその関連分野
⑯	内科学一般およびその関連分野
⑰	社会医学、看護学およびその関連分野
⑱	スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野
⑲	情報科学、情報工学およびその関連分野
⑳	その他

鎌倉女子大学 大学院

児童学研究科児童学専攻

家政学部

家政保健学科

管理栄養学科

児童学部

児童学科

子ども心理学科

教育学部

教育学科

New!

教育メディアクリエーション学環

2026年4月開設

鎌倉女子大学短期大学部

初等教育学科

初等教育学科 通信教育課程 (e-learning course)

男女共学

鎌倉女子大学 学術研究所

初等教育学科 通信教育課程 e-learning course Webサイト については [こちら](#)でご確認ください

内容についてのお問い合わせ・講座実施のご相談等は以下にご連絡ください。

〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号

Tel : 0467-81-4002 (平日 9:00~15:00)

Mail : kamapro@kamakura-u.ac.jp